

週刊 学びのコミュニティー

第58号

平成22年7月14日発行



第4弾は、教養科目『アクティブラーニングと科学』です。

(火曜日1・2限目 担当：齊藤 隆仁准教授)

「アクティブラーニング」というと、一体どのような学びを想像するでしょうか？スポーツしながら学ぶ？何かを作ったり、作業をしながら学ぶ？広くは使われていない用語ですので、イメージがしにくいかもしれません。この授業では人と



『積極的に』関わりながら、学ぶ課題を『主体的に』見つけ出し考えることができることを目標として、「アクティブラーニング」という言葉を使っています。

授業名についているもうひとつの「科学」との関係も気になります。科学は既に体系化されていて、それを順序良く学ぶのが「学校」だとすれば、わざわざ自分で課題を見つげ出さなくても良いのでは？と思うかもしれません。高校までの多くの授業は確かに効率的に知識を獲得するために、今日の科学において正しいと信じられていることを順序良く学んできており、あえて過去に否定されてきたことまで学ぶことはほとんどありませんでした。ならば、このまま一気に最先端のことまで学部で専門で学ぶことができれば、最も効率よく学べるし、あえて自分が課題を見つける必要も無いと思うかもしれません。でも、今日の社会においては「解答」の用意されている課題は稀であっ

て、学部で学んだ知識では全く解決することができない課題のほうが多いのです。

そこでこの授業では、これまで科学がどうやって物事を解決しようとしてきたのかということをし少し外側から眺め、全体の構造を把握することで、自分なりの視点で問題・課題を見つげ出し、主体的な学びにつなげたいと考えています。これまで科学が直面した問題、あるいは社会が直面した問題もこういった方法で困難を乗り越えてきました。この授業ではその一部を体験し、さらにはその問題点に対し、自分の意見を持つことで、大学での、さらには大学を卒業した後の学びを深めてほしいと思っています。

随分と観念的な話になってしまいました。例えるなら、これまでの学校での勉強はディズニーランドで決められたアトラクションを楽しむことに相当するとしましょう。それに対して、大学での、特に教養における学びというのは、街やら森に行き自分で遊びを発見しながら、遊びの本質を考えることに相当するといったら分かってもらえるでしょうか。「これまでそんな遊びをしたことが無いよ」という人にとっては大変難しいものです。優秀なガイドがついていればそれは比較的容易になるかもしれません。私自身はまだこの発見を楽しんでいる最中ですので、残念ながら優秀なガイドではありません。そこで「アクティブラーニング」君にガイドとして登場してもらおうこ



とにしました。一人で考えて良く分からなくても、授業中にお互いに刺激しあい、意見を出しあうという経験を少しでも多くすることを通じて、これまでの受身な学習態度から主体的な学びへ変化するという事は、この授業を試行錯誤しながら実施することを通じて感じているところです。

今年は、天動説から地動説へのパラダイムシフトの学習を通じ、問題の構造を把握するという練習を経た後に、疑似科学のどこが問題なのか、あるいは化石燃料フリーな社会を想像するという、これまでの学んできた知識だけでは「解答」にならない、困難な課題に挑戦してみました。提出されたレポートからは、全員がこの課題を完璧にクリアしている状況ではありませんが、徐々に乗り越えようと努力している跡があちらこちらに伺えます。

大変ありがたいことに、徳島大学では全学共通教育に地域社会人が授業にボランティアで参加していただいています。まさにこの方々は「アクティブラーニング」を自ら実践されており、学生に

とって上記の「遊びのガイド」という存在になります。今回の授業では、宮田健さんに参加していただきました。課題として西洋の

学問と東洋の学問の比較が取り上げられました。



そこでの論点は西洋の学問が先に発展したということの理由を説明するために、東洋の学問が引き合いに出されましたが、宮田さんからは東洋の学問の特徴を際立たせる視点からのアドバイスがありました。学生・地域社会人・教員がお互いに学びあうのが「学びのコミュニティ」という概念ですが、異なった価値観に触れるということを通じて、まさにそれを実感できる場となっていると感じています。これからも「学びのコミュニティ」を通じて学生が「遊びの達人」になれることを願っています。

(文責：齊藤 隆仁)



Hatoba 企画「恋のうた学習会」より



第2回目も好評をいただき、「また開いて欲しい」とのお声を受けて…



『恋のうた詠み会』其の三

が開催されます!!

内容は、1, 2回目同様、みなさまに“恋”をテーマにしたうたを詠んでいただきます。

お一人につき一首(五・七・五・七・七)で“恋のうた”を作ってきてください。

当日はみなさまが作ってきてくださったうたをテキストとしてお配りしますので、

開始時間より少し早めにお越しください。

また、会の中でみなさまと一緒にしおりを作ろうと思っております。どうぞお楽しみに♪



日時：8月10日(火) 14:00~16:30頃 **場所：学生支援室**

今回は、和の雰囲気こだわった うた詠み会を企画しております。

当日は出来るだけ浴衣、甚平姿でお越しいただけたらと思います!



～編集後記～

生憎の天気が続いています。ここ西日本では、引き続き大雨に警戒が必要だとか。じめじめしたこんな日は心の疲れ、そして体の不調を感じやすいものです。そんな時は深い深い呼吸がお勧めだそうです。心や体の深部からほぐれてきて、リラックスしてくるのを感じます。梅雨明けまではまだもう少しかかりそうです。忙しく、湿度の高い毎日ですが、自分の呼吸を感じながら、心と体の調子を整えていきましょう。(境)